

特集 認知症=自分事 ～自分らしく生きていくために～

図 いきいき長寿課②126



認知症は自分には関係ない(＝他人事)と思っていませんか。
約3人に1人の割合で高齢者だけでなく、65歳未満の若い方も発症する可能性がある認知症は、大切な家族や友人、近所の方、誰にとっても身近な「脳の病気」です。
誰もが、「認知症=自分事」として捉え、認知症を知り、備え、人とつながることが大切です。

認知症ってなんだろう

認知症は、脳の細胞が壊れ、働きが衰えることで、記憶力や判断力に障害などが起こり、およそ6カ月以上継続して生活に支障が出ている状態をいいます。

認知症の種類

アルツハイマー型認知症

一番多い認知症で、もの忘れから始まり、うつや妄想、徘徊などのさまざまな症状が現れます。

血管性認知症

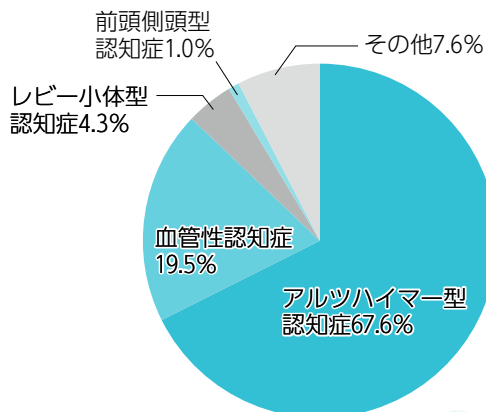
手足の麻痺・歩行障害・言語障害・感情のコントロールができなくなるなど、認知症以外の神経の障害を伴うことがあります。

レビー小体型認知症

もの忘れとともに、幻視やパーキンソン病の症状に似た運動機能の症状が現れることがあります。日によって症状の変動が大きいのが特徴です。

前頭側頭型認知症

認知機能の障害よりも、我慢や思いやりなどの社会性を失い、暴力的になるなど、行動面の問題が目立つようになります。



出典：政府広報オンライン
「知っておきたい認知症の基本」

加齢と認知症によるもの忘れの違い

加齢によるもの忘れ

記憶の帯

体験の一部を
忘れる

- ・体験のほかの記憶から思い出すことができる
- ・もの忘れをしている自覚がある
- ・人、時間、場所まで分らなくなることはない

日常生活に大きな支障はない

認知症によるもの忘れ

記憶の帯

体験全体が
抜け落ちる

- ・体験や出来事のヒントがあっても思い出すことができない
- ・もの忘れをしている自覚がない
- ・人、時間、場所まで分らなくなることがある

日常生活に支障が出る

9月は世界アルツハイマー月間

町では、図書館の協力のもと、9月に認知症の特集コーナーを設置しています。

この機会に、認知症について考えてみませんか。



周りの方が異変に気付くことができます！

「認知症」早期発見のめやす **いくつ** 当てはまる？

日常の暮らしの中で、認知症ではないかと思われる言動を、「家族の会」の会員の経験からまとめたものです。医学的な診断基準ではありませんが、暮らしの中での目安として参考にしてください。

いくつか思い当たることがあれば、一応専門家に相談してみることでよいでしょう。

もの忘れがひどい

- ☐ 1. 今切ったばかりなのに、電話の相手の名前を忘れる
- ☐ 2. 同じことを何度も言う・問う・する
- ☐ 3. しまい忘れ置き忘れが増え、いつも探し物をしている
- ☐ 4. 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う

判断・理解力が衰える

- ☐ 5. 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった
- ☐ 6. 新しいことが覚えられない
- ☐ 7. 話のつじつまが合わない
- ☐ 8. テレビ番組の内容が理解できなくなった

時間・場所がわからない

- ☐ 9. 約束の日時や場所を間違えるようになった
- ☐ 10. 慣れた道でも迷うことがある

人柄が変わる

- ☐ 11. 些細なことで怒りっぽくなった
- ☐ 12. 周りへの気づかいがなくなり頑固になった
- ☐ 13. 自分の失敗を人のせいにする
- ☐ 14. 「このごろ様子がおかしい」と周囲から言われた

不安感が強い

- ☐ 15. ひとりになると怖がったり寂しがったりする
- ☐ 16. 外出時、持ち物を何度も確かめる
- ☐ 17. 「頭が変になった」と本人が訴える

意欲がなくなる

- ☐ 18. 下着を替えず、身だしなみを構わなくなった
- ☐ 19. 趣味や好きなテレビ番組に興味を示さなくなった
- ☐ 20. ふさぎ込んで何をするのも億劫がりがりやがる

出典：（公社）認知症の人と家族の会

ひとりで悩まず、相談を



地域包括支援センター



専門職のスタッフが連携を取り、高齢者を総合的に支援しています。高齢者本人やご家族だけでなく、近所に住んでいる方からも相談や情報を受け付けています。

中部・北部地域の方

伊奈町地域包括支援センター ☎ 720-5656

南部地域の方

南部地域包括支援センター ☎ 795-4900



医療機関・介護サービス・地域の支援機関をつなぐ認知症地域支援推進員や認知症の方・その家族を速やかに適切な医療介護などの支援につなげる「認知症初期集中支援チーム」を地域包括支援センター内に設置しています。

認知症疾患医療センター

（一部抜粋）



電話・面談などによる相談や専門家による鑑別診断と、それに基づく初期対応および合併症や周辺症状への対応などを行っています。

- 埼玉県済生会鴻巣病院 ☎ 048-501-7191
- 久喜すずのき病院 ☎ 0480-23-3300
- 埼玉精神神経センター ☎ 857-6811

民間の相談窓口

- 認知症の人と家族の会（埼玉県支部）☎ 814-1210（月・水・金・土曜日10時～16時）
☎ 814-1211（随時）
- 認知症の電話相談（認知症の人と家族の会本部）☎ 0120-294-456（月～金曜日10時～15時）、☎ 050-5358-6578（携帯からかける場合）

若年性の方

- 若年性認知症コールセンター（認知症介護研究・研修大府センター）☎ 0800-100-2707（月～土曜日10時～15時、水曜日は19時まで）
- 若年性認知症サポートセンター ☎ 814-1212（月～金曜日9時～16時）